

万博公園探鳥会

2025年2月8日(土)

リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美
玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

I 千里の鳥・万博の鳥「ツグミ」

漢字名 鶇 学名 *Turdus naumanni*(第7版)

万博公園探鳥会は昭和 60(1985)年 2 月にスタートし、満 40 年となりました。この間、千里タイムズ紙には毎月探鳥会案内を掲載していただいたことから、千里ニュータウンを中心とする吹田市・豊中市など北摂にお住いの多数(延 30,000 人以上)の方々に、万博公園で野鳥とのふれあいを楽しんでいただくことができました。

今後も、鳥そして人との出会いを楽しみに、探鳥会を続けたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



ツグミ(橋本昌宗)

今月紹介するツグミは冬鳥として観察される体長 24 cmと大きめの小鳥である。万博探鳥会をスタートした頃は冬に観察できる鳥の中で最もポピュラーで、公園だけでなく住宅地で普通に観察できる鳥であったが、最近は万博公園でさえも少なく、珍鳥と思われるほどになっている。

ツグミはロシア東部(シベリア)で生まれ、冬になると日本に渡ってくる鳥である。今は野鳥保護思想の普及と密猟対策の徹底から、少なくなったと思われるが、戦前～戦後にかけてカスミ網猟により数十万羽、いや数百万羽という大量のツグミが捕獲され、焼き鳥用として酒場で利用されてきた悲しい歴史を持つ。★1 遠藤公男:ツグミたちの荒野 講談社(1983年)

万博公園では晩秋渡来してすぐは高い木や人から見えにくい所、クスノキの樹冠などにいて木の実を食べている。木の実が少なくなる 1 月には、芝生に降りて虫探しを始めるので、今頃からは、良く観察できる。ツグミは虫を探して芝生上を歩く時、数歩歩いた後、今日の写真のように胸をそらし姿勢良く立ち止まり、また数歩歩くという行動を繰り返す特徴がある。大きさがほぼ同じムクドリは、常に歩いて動き回って餌探しをしているので、遠くからでも動きから両者の違いが分かる。

そのツグミ、昨年 9 月日本鳥学会が発表した「日本鳥類目録改訂第 8 版」では、これまで亜種であったツグミ・ハチジョウツグミが、それぞれ種として独立して表示されることになり、種としての学名表示が第 7 版までと異なる。★2 日本鳥学会:日本鳥類目録改定第8版(2024年)

第 7 版 種ツグミ *Turdus naumanni* 亜種ツグミ *Turdus naumanni eunomus* 亜種ハチジョウツグミ *Turdus naumanni naumanni*

第 8 版 種ツグミ *Turdus eunomus* 種ハチジョウツグミ *Turdus naumanni*

学名では亜種名が3番目に表記されるが、種として独立すると種小名となり2番目に表記される。このためこれまでのツグミの学名上の表記はハチジョウツグミが継ぎ、ツグミの表記が変化する。この理由は、最初に新種として記載された亜種を基亜種というが、ハチジョウツグミが先に登録されていた基亜種であったことによる。

また、繁殖・越冬分布が表示されている図鑑では、これまでの種ツグミは亜種ツグミ・亜種ハチジョウツグミの繁殖・越冬範囲を包含していたが、本年以降に発行される図鑑では種ツグミ・種ハチジョウツグミがそれぞれ独立して表示されるため、両種がどのような繁殖・越冬分布を持つのか興味がある。

II ① 和田岳さんの身近な鳥から鳥類学・第6回 今年はずいぶんツグミが少ない

むくどり通信 2012年1月号 No.217号

冬鳥の季節になりました。この冬はツグミが少ない、と思っている方も多いのではないのでしょうか。今回は、大阪に渡ってくるツグミの個体数について考えてみましょう。テーマは、ツグミと果実の豊凶の関係です。

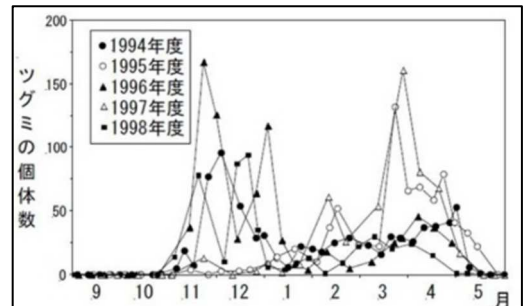
●この冬はツグミが異常に少ない？

大阪府では、11月半ばにもなれば普通にツグミが見られるというイメージがあります。しかしこの秋、長居公園では11月末になってようやくツグミの姿を見かけるようになりましたが、せいぜい数羽程度。12月初めの時点で、ツグミの大きな群れは確認していません。この冬はツグミが少ないという声は、大阪府のみならず、関西のあちこち、東日本からも聞こえてきます。それでは、12月になってもツグミの姿をあまり見ないのは、異常なのでしょうか？ 過去に似たような事がなかったかを検討してみたいと思います。図2に1994年度から1998年度のツグミの個体数の季節変化を示しました。11月から12月にたくさんのツグミが記録されている年度と、ほとんどツグミが記録されていない年度があります。過去にも11月から12月にツグミがあまりいない年度があったことが分かります。程度の差はあるのですが、近年では2005年度や2009年度も秋から初冬にツグミがほとんど見られませんでした。1995年度や1997年度は、長居公園だけでなく大阪府一円どころか日本全国でツグミが少ないと話題になっていました。当時から異常だという声があちこちで聞かれました。しかし、こんなに頻繁にあることから分かるように、決して異常な出来事ではないようです。この文章を書いているのは2011年12月の始め。ここでちょっとだけ予測をしてみます。図をよく見ると、12月までツグミが少なくても、年が明けるとツグミの個体数は増えはじめ、3月頃には多数のツグミが記録されています。今年度も、1月から2月、遅くとも3月には、ツグミが普通に見られるでしょう。当たれば、この冬のツグミは過去と同じ一つのパターンに従っているだけになります。はたして当たるのでしょうか？

●果実の豊凶とツグミの関係

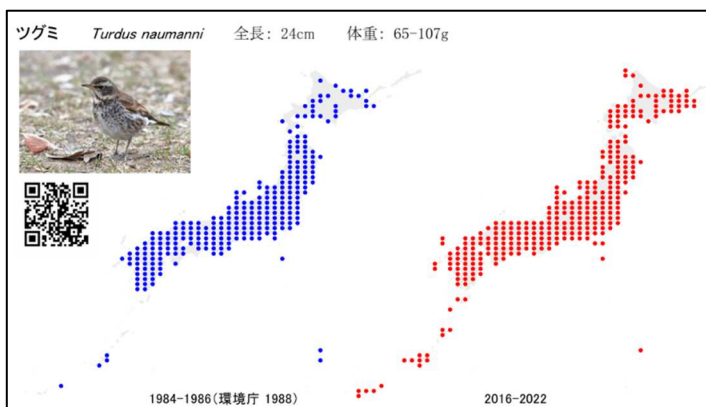
それでは、秋にツグミが数多く記録される年と、ほとんどツグミが記録されない年では、何が違うのでしょうか？ 松岡(1984)は、積雪とツグミの個体数の関係を報告しています。ただし、これは秋の渡来数ではなく、いったん渡ってきたツグミが、積雪が多いとどこかに行ってしまうという報告です。長居公園での観察では、秋のツグミの渡来数は、果実の豊凶と関係あるのではないかと

いう結果が出ています。図2で、11月から12月にツグミが記録されていない年は、いずれも果実が豊作の年でした。同じく秋から初冬にツグミがほとんど見られなかった2005年度や2009年度も、果実は豊作でした。今年もやはり、秋から冬に熟す液果が豊作です。庭先のピラカンサやナンテンには、とても沢山の果実が真っ赤に実っています。郊外に行けば、カキの実がたわわに実っているのが見られます。果実の豊凶と、秋のツグミの渡来に関係がありそうですが、どうしてそうなっているのか、じゃあツグミはどこにいるのか、詳しいことはまだ分かっていません。ツグミの渡来数を左右する原因はまだ研究が必要です。



II ② 全国鳥類越冬分布調査(2016~2022)

日本野鳥の会・バードリサーチ



II ③ 真木・大西: 日本の野鳥 590

平凡社(2000年)鳥類目録第6版



Ⅲ 先月 2025 年 1 月万博公園探鳥会結果

万博公園の池は公園整備時(1971年)に作られた人工池のみのカモは多くないが、水鳥の池では久しぶりにヨシガモ(2)、先月に続いてのオカヨシガモ(7)、更に水の広場にいたキンクロハジロ(4)、日本庭園にいた留鳥カルガモ(26)を加え、4種のカモを観察したが、一年前に観察できたオシドリはいなかった。タカは探鳥会資料に今月の鳥として入れたハイタカ(1)のみであったが、冬の小鳥はシロハラ(26)・ツグミ(8)・ジョウビタキ(11)・イカル(14)・シメ(1)・アオジ(6)・ソウシチョウ(5)など、更に最近、越冬期に分布を広げているリュウキュウサンショウクイと推定されるサンショウクイ(1)が松の池近くで確認された。

写真(橋本昌宗氏)



キンクロハジロ



カイツブリ



アオサギ



ハイタカ



カワセミ



エナガ



メジロ



シロハラ



ジョウビタキ



アトリ



イカル



アオジ

IV 万博公園探鳥会観察種 チェックリスト

万博 NO	大阪 NO	種名	2024					2025					大阪 NO
			1 13	2 10	3 9	4 13	5 11	11 9	12 14	1 11	2 8	3 8	
1	24	オシドリ	2	2	25								24
2	26	オカヨシガモ						27	7				26
3	27	ヨシガモ							2				27
4	28	ヒドリガモ											28
5	30	マガモ	2			2							30
6	32	カルガモ	32	26	28	9	16	4	28	26			32
7	35	オナガガモ											35
8	38	コガモ											38
9	42	ホシハジロ			1								42
10	46	キンクロハジロ	1	2				1	4				46
11	58	ミコアイサ											58
12	62	カイツブリ	4	7	1	3	5	8	3	13			62
13	74	キジバト	5	1	4	8	4	3	6	7			74
14	78	アオバト		5	1								78
15	127	カワウ	3	6		8	7	1		1			127
16	139	ゴイサギ											139
17	144	アオサギ	2	1	2	1	1	1	1	2			144
18	146	ダイサギ		1	1								146
19	148	コサギ		5	2	3				1			148
20	166	クイナ											166
21	174	バン								1			174
22	175	オオバン						1	5	4			175
23	187	ツツドリ											187
24	192	アマツバメ											192
25	195	ケリ											195
26	202	イカルチドリ											202
27	203	コチドリ											203
28	219	タシギ	2	2	2	2							219
29	244	イソシギ											244
30	286	ユリカモメ											286
31	339	ミサゴ	1	1					1				339
32	340	ハチクマ											340
33	342	トビ		1			2		1				342
34	354	ツミ											354
35	355	ハイタカ	3	1	1				3	1			355
36	356	オオタカ	1	4									356
37	357	サシバ											357
38	358	ノスリ			1	1			1				358
39	383	カワセミ	4	2	6	1	3	4	6	6			383
40	388	アリスイ											388
41	390	コゲラ	5	5	2	5	2	3	4	5			390
42	401	チョウゲンボウ	1	1	1								401
43	407	ハヤブサ											407
44	412	サンショウクイ								1			412
45	418	サンコウチョウ											418
46	420	モズ	2	1	1			3	1	5			420
47	435	ハシボソガラス	15	7	5	13	15	9	21	4			435
48	436	ハシブトガラス	32	38	48	34	48	57	54	127			436
49	442	ヤマガラ	4	8	2	2	2	8	3	7			442
50	445	シジュウカラ	14	18	17	23	17	12	14	18			445
51	457	ツバメ				6	27						457
52	459	コシアカツバメ					3						459
52	463	ヒヨドリ	67	52	26	13	12	87	98	68			463
53	464	ウグイス	2	1	5	11	6	3	3				464
54	465	ヤブサメ											465
55	466	エナガ	8	9	6	2	6	18	11	7			466
56	476	オオムシクイ											476
57	477	メボソムシクイ											477
58	479	エゾムシクイ											479
59	480	センダイムシクイ						1					480
60	485	メジロ	6	4	7	8	11	16	8	16			485
61	492	オオヨシキリ											492
62	501	ヒレンジャク											501
63	506	ムクドリ	14	2	1	4	14		14	4			506
64	508	コエグサドリ											508
65	514	トラツグミ		1									514
66	521	シロハラ	1	3	4	8		2	3	26			521
67	522	アカハラ				3		1					522
68	525	ツグミ	136	3	44	35			25	8			525
69	530	コマドリ											530
70	536	ルリビタキ				1							536
71	540	ジョウビタキ	7	3	5	1		11	8	11			540
72	542	ノビタキ											542
73	549	イソヒヨドリ		1	1				2				549
74	552	エゾビタキ											552
75	554	コサメビタキ				2							554
76	558	キビタキ				1	1						558
77	561	オオルリ											561
78	568	ニュウナイスズメ				11							568
79	569	スズメ	31	32	4	21	23	57	28	44			569
80	573	キセキレイ						1					573
81	574	ハクセキレイ	16	12	15	9	6	17	21	13			574
82	575	セグロセキレイ	4	2		1		1	1				575
83	580	ビンズイ											580
84	584	タヒバリ											584
85	586	アトリ	18	31	32	2			5	38			586
86	587	カワラヒワ	81	97	65	10	15	1	19	10			587
87	600	シメ	8			2				1			600
88	602	イカル					3	4		14			602
89	610	ホオジロ											610
90	617	カシラダカ											617
91	624	アオジ	2		2	2		3	2	6			624
92		ドバト	〇	〇		〇	〇	〇	〇	〇			
93		ソウシチョウ							1	5			
94		カッコウSP											
95		ムシクイSP											
96		タカSP											
97	37	トモエガモ	3										37
98	251	トウネン											251
99													
種類数(種)			36	39	36	37	26	28	35	36			
個体数(羽)			538	398	369	268	250	336	429	513			
天候			晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	曇	晴		
参加者数(人)			23	34	35	31	30	33	27	23			

V 来月の万博公園探鳥会 3月8日(土)

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール g.0501.hi@gmail.com への連絡でも OK。

(以下 万博公園探鳥会 40 周年特集)

VI 千里タイムズ第 1 回万博公園探鳥会案内

1985 年 2 月、万博公園で初めて探鳥会を開催することになり、当時千里ニュータウン一円に無料配布されていたミニコミ誌「千里タイムズ紙」に探鳥会案内の掲載をお願いした。初めてのことから、日本野鳥の会の団体説明からスタートしています。また、問い合わせ先は**主担当リーダーの故塩田猛さん**をお願いしたが、初めてのことで問い合わせが多かったことから、2 回目からは平の名前に変更しました。

VII 第 1 回探鳥会観察結果

参加者 32 名、観察した鳥 34 種

カイツブリ、コサギ、マガモ、カルガモ、キンクロハジロ、ヒドリガモ、**キジ**、バン、キジバト、**ヒバリ**、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、**ホオジロ**、**カシラダカ**、アオジ、カワラヒワ、イカル、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、**コジュケイ**、ハイタカ、コゲラ

最近、万博公園で全く観察できなくなった鳥を**赤太字**で表示したが、草原の鳥がいなくなったことが良くわかります。

万博公園は植えられた木々が小さく、全体が草原状態にあったことで、キジ・ヒバリ・ホオジロ・コジュケイは園内で繁殖していて、一年中観察できる留鳥でした。この頃探鳥会で、キジの「ケーン・ケーン」をカウント、50 回聞いたことがある。



第949号 (第 3 種郵便物認可)

万博公園で初の探鳥会 野鳥との出合いを

日本野鳥の会大阪支部



日本野鳥の会大阪支部では、きたる 2 月 16 日(土)に万博公園探鳥会、また翌 17 日(日)には箕面公園定例探鳥会を開催する。
日本野鳥の会は、先月亡くなられた中西悟堂氏の提唱により戦前からつくられている趣味の団体。本部は東京に置かれており、全国 50 数か所に支部を持ち、会員も一

万 3 千人を越えている。一方、大阪支部も戦前からある歴史のな組織で、現在、1 千人強の会員が加入している。
実際の活動としては、「鳥の声を聴き、鳥を見て楽しむ」という基本理念の下、本部では全国的な自然環境の悪化という社会状況から、特に野鳥の保護に力を入れている。これは、各地方に鳥がすみ

万博公園での探鳥会ははじめてのころみだが、万博 10 周年記念事業のひとつとして、昭和 55 年度に「野鳥の森」が整備されており公園全体で約 50 種類の野鳥が確認され、その内 10 数種類の野鳥が繁殖しているなど、今では府下有数の野鳥天国。日本野鳥の会では、今回の開催を契機に、万博公園で探鳥会を定例会として位置づけること。

万博公園探鳥会は、2 月 16 日(土)午前 9 時 30 分、太陽の塔前で集合。公園内をゆくり見て歩き、カモ類、サギ類、カラ類などを観察する。都会周辺ではめっきり少なくなったカワセミもよく見られるとか。解散予定は午後 2 時頃の予定。問い合わせは電 06-877-1692、塩田 猛さんへ。
また、翌 17 日(日)の箕面公園定例探鳥会は、午前 9 時に阪急山崎に集合。大阪から最も近い山の鳥の豊庫だけに、カラ類、ワシタカ類、キツキ類などが見られる。問い合わせは電 072-231-2651、吉村理一さんへ。
なお、探鳥会への参加費は一人 200 円。弁当、防寒具、筆記具、家など)を持参。靴は普通の運動靴が適している。

← **キジ(天筒靖昌氏 1990 年頃)**

VIII 万博公園探鳥会 10周年・20周年・27周年・35周年記念写真



探鳥会の参加者数は1990年代をピークに大幅に減少しています。

その理由は

- ・千里ニュータウンのオールドタウン化
- ・日本野鳥の会会員減及び高齢化
- ・ウォッチングよりカメラマン化
- ・(他公園に比し)万博公園に鳥が少ない(と思われている)
- ・コロナ禍後、申込制にしたことなどによると思っています。

IX 万博の森づくり三代記 基礎設計から現在まで

IX① 万博の森基礎設計 吉村元男先生(造園家・鳥取環境大学元教授)

吉村元男先生 万博公園当初計画

図 32 盛土構成横式図

吉村先生と

24

IX② 自立した森づくり 森本幸弘先生(京都大学名誉教授)

実験区位置図

IX③ 緑整備部会による目標樹林タイプ設定 (今西純一先生・大藪崇司先生他)



IX④ 万博公園の森づくりの経緯

万博公園の管理者は、1970年日本万国博覧会が成功裏に終了し192億円もの黒字になったこともあり、その資金管理を含め、大蔵省が担当した。その後、大蔵省は財務省に改変され、更に大阪府に移管され、大阪府府民文化部が所管する大阪府日本万国博覧会事務所が管理者となっている。

管理者	運営組織名	森づくりの内容
① 大蔵省	日本万国博覧会記念協会	森の生長
② 財務省	独立行政法人日本万国博覧会記念機構	自立した森づくり(人工ギャップ方式)
③ 大阪府	日本万国博覧会記念公園事務所	目標樹林タイプ設定による森づくり

現在の「目標樹林タイプ設定方式」は、自立した森づくりの「人工ギャップ方式」の伐採では数年で元の状態になり、生物多様性が回復しなかったことから、広い面積での常緑樹林を落葉樹林に置き換えることを目標に、樹林が伐採されている。今日の観察会で、その現地を見てもらいたいと思っています。

X 万博公園の希少植物

万博公園が整備され55年、作られた樹林であるが、吹田市にほとんどない希少植物が生育している。すいた市民環境会議が作成したレッドリストすいた2024には、Aランク7種、Bランク4種と11種の植物をリストアップされている。

種名	科名	生育場所	株数(概数)	環境省RL	大阪府RL2014	RLすいた2024
①クゲヌマラン	ラン科①	3-24,3-30 東の広場東側	200株	絶滅危惧Ⅱ類	公式生育記録?	Bランク
②キンラン	ラン科②	日本庭園東端	3株	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	Aランク
③ギンラン	ラン科③	3-24,3-25 太陽の塔前・日本庭園東端	25株	-	絶滅危惧Ⅱ類	Bランク
④コ克蘭	ラン科④	2-14,3-26,3-30	100株	-	-	Bランク
⑤タシロラン	ラン科⑤	3-12,3-13,3-22,3-24	数百株	準絶滅危惧	公式生育記録?	Bランク
⑥オグルマ	キク科	2-9	50株	-	絶滅危惧Ⅱ類	Aランク
⑦カワチシャ	オオバコ科	森の舞台低地	10株	準絶滅危惧	準絶滅危惧	Aランク
⑧ミゾコウジュ	シソ科①	森の舞台低地	50株	準絶滅危惧	準絶滅危惧	Aランク
⑨ツルニガクサ	シソ科②	3-26	50株	-	-	Aランク
⑩コタニワタリ	チョウセンシダ科	3-12	1株	-	-	Aランク
⑪クリハラン	ウラボシ科	3-12	1株	-	-	Aランク